

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 6 月 10 日 (2021.6.10)

【公表番号】特表 2020-517719 (P2020-517719A)

【公表日】令和 2 年 6 月 18 日 (2020.6.18)

【年通号数】公開・登録公報 2020-024

【出願番号】特願 2019-558554 (P2019-558554)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/06 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/138 (2006.01)

A 6 1 K 31/5375 (2006.01)

A 6 1 K 9/06 (2006.01)

A 6 1 K 9/20 (2006.01)

A 6 1 K 9/48 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/06

A 6 1 P 11/00

A 6 1 K 31/138

A 6 1 K 31/5375

A 6 1 K 9/06

A 6 1 K 9/20

A 6 1 K 9/48

A 6 1 P 43/00 1 1 1

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 4 月 23 日 (2021.4.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(i) ノルエピネフリン再取り込み阻害剤 (N R I)、(i i) ムスカリン性受容体アンタゴニスト、及び (i i i) 薬剤として許容される担体を含む、医薬組成物。

【請求項 2】

前記 N R I がノルエピネフリン選択的再取り込み阻害剤 (N S R I) である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記 N S R I が、アメダリン、アトモキセチン、C P - 3 9 , 3 3 2、ダレダリン、エディボキセチン、エスレボキセチン、ロルタラミン、ニソキセチン、レボキセチン、タロプラム、タルスプラム、タンダミン、及びピロキサジンからなる群から選択される、請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記 N R I が、アミトリプチリン、アモキサピン、ブプロピオン、シクラジンドール、デシプラミン、デスベンラファキシン、デキストロメチルフェニデート、ジエチルプロピオン、ドキセピン、デュロキセチン、イミプラミン、レボミルナシبران、マニファキシ

ン、マプロチリン、メチルフェニデート、ミルナシブラン、ネファゾドン、ノルトリプチリン、フェンジメトラジン、フェンメトラジン、プロトリプチリン、ラダファキシン、タペンタドール（Nucynta）、テニロキサジン（Lucelan、Metatone）及びベンラファキシンからなる群から選択される、ノルエピネフリン非選択的再取り込み阻害剤（NNRI）である、請求項1に記載の組成物。

【請求項 5】

前記NNRIが、アトモキセチン及びレボキセチンからなる群から選択される、請求項1に記載の組成物。

【請求項 6】

前記NNRIがアトモキセチンである、請求項5に記載の組成物。

【請求項 7】

アトモキセチンの投薬量が20～100mgである、請求項6に記載の組成物。

【請求項 8】

アトモキセチンの投薬量が25～75mgである、請求項7に記載の組成物。

【請求項 9】

前記ムスカリン性受容体アンタゴニストが、アトロピン、プロパンテリン、ベタネコール、ソリフェナシン、ダリフェナシン、トルテロジン、フェソテロジン、トロスピウム、及びオキシブチニンからなる群から選択される、請求項1に記載の組成物。

【請求項 10】

前記医薬組成物の前記ムスカリン性受容体アンタゴニスト成分が、アニソトロピン、ベンズトロピン、ピペリデン、クリジニウム、シクリミン、ジシクロミン、ジフェマニル、ジフェニドール、エトプロパジン、グリコピロレート、ヘキソサイクリウム、イソプロバミド、メペンゾレート、メチキセン、メトスコボラミン、オキシフェンシクリミン、オキシフェノニウム、プロシクリジン、スコボラミン、トリジヘキセチル及びトリヘキシフェニジルからなる群から選択される、請求項1に記載の組成物。

【請求項 11】

前記ムスカリン性受容体アンタゴニストが、即時放出剤形をとる、請求項1に記載の組成物。

【請求項 12】

前記ムスカリン性受容体アンタゴニストが、徐放性剤形をとる、請求項1に記載の組成物。

【請求項 13】

前記ムスカリン性受容体アンタゴニストがオキシブチニンである、請求項1～12のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 14】

オキシブチニンの投薬量が2～15mgである、請求項13に記載の組成物。

【請求項 15】

前記オキシブチニンが、用量2.5～10mgを有する即時放出剤形をとる、請求項13に記載の組成物。

【請求項 16】

前記オキシブチニンが、用量5～15mgを有する徐放性剤形をとる、請求項13に記載の組成物。

【請求項 17】

前記NNRI及び前記ムスカリン性受容体アンタゴニストが、単一組成物の形で製剤化される、請求項1に記載の組成物。

【請求項 18】

前記単一組成物が経口投与形態である、請求項17に記載の組成物。

【請求項 19】

前記経口投与形態が、丸剤、錠剤、トローチ剤、又はカプセル剤である、請求項18に記載の組成物。

【請求項 20】

不完全な意識状態であると同時に、咽頭気道虚脱を伴う症状を有する対象の治療で使用される、請求項 1 ~ 19 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 21】

前記疾患又は障害が、睡眠時無呼吸である、請求項 20 に記載の使用される組成物。

【請求項 22】

前記疾患又は障害が、閉塞性睡眠時無呼吸である、請求項 21 に記載の使用される組成物。

【請求項 23】

前記疾患又は障害が、いびきである、請求項 20 に記載の使用される組成物。

【請求項 24】

前記疾患又は障害が、単純性いびきである、請求項 23 に記載の使用される組成物。

【請求項 25】

前記不完全な意識状態が睡眠である、請求項 20 に記載の使用される組成物。

【請求項 26】

(i) アトモキセチン、(ii) オキシブチニン、及び (iii) 薬剤として許容される担体を含む、睡眠時無呼吸の治療に用いられる医薬組成物。

【請求項 27】

(i) アトモキセチン、(ii) オキシブチニン、及び (iii) 薬剤として許容される担体を含む、いびきを治療に用いられる医薬組成物。

【請求項 28】

不完全な意識状態であると同時に、咽頭気道虚脱を伴う症状を有する対象の治療で使用される、ノルエピネフリン再取り込み阻害剤 (NRI) 及びムスカリン性受容体アンタゴニスト。

【請求項 29】

咽頭気道虚脱を伴う症状が、睡眠時無呼吸である、請求項 28 に記載の NRI 及びムスカリン性受容体アンタゴニスト。

【請求項 30】

咽頭気道虚脱を伴う症状が、いびきである、請求項 28 に記載の NRI 及びムスカリン性受容体アンタゴニスト。

【請求項 31】

ノルエピネフリン再取り込み阻害剤 (NRI) 及びムスカリン性受容体アンタゴニスを備えるキット。

【請求項 32】

不完全な意識状態であると同時に、咽頭気道虚脱を伴う症状を有する対象の治療で使用される、請求項 31 に記載のキット。